

# 広島大学大学院 文学研究科

# 「文藝学校」講演会

HIROSHIMA UNIVERSITY  
GRADUATE SCHOOL OF LETTERS  
Lecture meetings

米子会場「本の学校」多目的ホール

平成十七年十月二十九日(土)

午後二時三〇分—午後三時五〇分

鳥取県米子市新開二丁目一〇 電話〇八五九一三三五〇三

### ◆講師と演題

原野 昇「トリストランとイブ」物語

にみる愛のかたち

位藤邦生「御伽草子の豊穡な世界」

※講師はいずれも広島大学大学院文学研究科教授

### 入場無料

主催／広島大学大学院文学研究科「文藝学校」・「本の学校」  
協賛／株式会社今井書店グループ

後援／鳥取県教育委員会・米子市教育委員会

米子ユネスコ協会・ITC米子クラブ

「本の学校」生涯読書をすすめる会

### お問い合わせ先

### 「本の学校」郁文塾

電話 〇八五九一三一五〇〇

ファックス 〇八五九一三一九一三三

Eメール b-school@imabooks.co.jp

### 株式会社松江今井書店

電話 〇八五二一四一三三三

ファックス 〇八五二一七七八九

Eメール mhonten@imabooks.co.jp

### 文部科学省より表彰

4月23日(土)の<子ども読書の日>に東京のオリンピック記念青少年総合センターで“子どもの読書活動推進フォーラム”が開催された。国民の間に広く子どもの読書活動についての理解と関心を深め、子どもの読書意欲を高める活動を推進する目的で文部科学省が毎年開いているものである。

このフォーラムの席上、鳥取県からは今年度の「子どもの読書活動優秀実践図書館」として南部町立図書館が、また「子どもの読書活動優秀実践団体」として「おはなしポケットの会」が表彰を受けた。そのほか、読書活動優秀実践校として、琴浦町立八橋小学校、鳥取市立用瀬中学校、鳥取県立米子南高等学校が表彰を受けた。

同じ地域で活動している方たち、当会の仲間たちの日ごろの努力が評価されたことを共に喜びたい。

#### 「本の学校」生涯読書をすすめる会 平成17年度役員

- 代 表 足立茂美
- 副 代 表 三島智子・渡辺なお子・松本寿栄子
- 記 録 中野郁子
- 企 画 足立寿子・河崎真弓・藤田栄子  
伊藤啓子・渡辺なお子・今出和史
- 会 報 高橋素子・井元尚子・足立茂美  
中野郁子
- 会 計 大田昭子・足立寿子・足立裕子
- 会計監査 恩崎英子・浜田照美

(下線は新任 4月25日 総会にて決定)

「Book&Life」は「本の学校」生涯読書をすすめる会の機関紙です。「本の学校」生涯読書をすすめる会は「お母さんの胎内にいるときから老後まで、本との出会いによる豊かな暮らしを」をテーマに、読書に関心のある人たちが集まり、協力し合うネットワークづくりを目指して平成10年に発足しました。毎月1回の例会を通して勉強会や情報交換を行うほか、講演会、おはなし会などを開き、広く読書の楽しさを伝える活動をしています。多くの方のご参加をお待ちしています。

「Book&Life」掲載記事、「本の学校」生涯読書をすすめる会についてのお問い合わせは事務局まで

〒683-0801 米子市新開 2-3-10

「本の学校」郁文塾内 Tel 0859-31-5001  
Fax 0859-31-9231

e-mail : b-schule@imaibooks.co.jp

### おしらせ

#### 広島大学大学院 文学研究科 第3回「文藝学校」講演会

日 時 10月29日(土)

午後1:30~4:15

場 所 「本の学校」多目的ホール

参加費 無料

#### ◆演題 『トリスタンとイゾー物語』にみる愛のかたち

講師：原野 昇 (広島大学大学院文学研究科教授)

トリスタンとイゾー。愛の物語からフランス中世という時代の姿をみていきます。

#### ◆演題：御伽草子の豊穰な世界

講師：位藤邦生 (広島大学大学院文学研究科教授)

子どもの時に聞いた「鉢かづき」や「一寸法師」。御伽草子の魅力をお話します。貴重本『奈良絵本』もご覧に入れます。お楽しみに・・・



#### 山陰シンポジウム

#### 文明の原点の**人と風土とアメニティ**

文明の発祥地である山陰地方一帯を、出雲、松江、米子の三つの地域から展望し、共通するやわらかな景観の中から見えてくるものは？ アメニティ(総合快適性)を通して人と風土の新たな発展を見出そう！

日 時 11月26日(土)

14:00~18:00

会 場 本の学校多目的ホール

資料代 300円

#### ◆記念講演 オギユスタン・ベルク教授 「日本の住まいの持続可能性:理想と現実との間」

#### ◆基調報告 熊谷昌彦氏 「山陰の住まいの原風景と現代の街並み」

#### ◆テーマ別報告

小泉 凡氏・足立茂美氏・木谷清人氏・和田嘉宥氏

主 催 AMRアメニティ・ミーティング・ルーム

共 催 山陰シンポジウムを開く会

お問合せ・お申込みは「本の学校」郁文塾  
Tel 0859-31-5001 Fax 0859-31-9231

#### あ と が き

17回目にして、初めて<図書館・読書活動>部門がお目見えした全国生涯学習フェスティバル鳥取大会。わが県における図書館・読書活動推進のパワーと関係者の思いの深さが伝わってきます。当会でも、これを機に<生涯にわたる読書>のあり方、大切さをさらに多くの方々と考えていきたいものです。西部でのブックスタート地区大会を成功させましょう！(S. A.)



## 広島大学大学院「文藝学校」今回の講義内容

### ◆『トリスタンとイゾー物語』にみる愛のかたち

講師：原野 昇

(はらの のぼる:1943年生まれ。広島大学文学部卒業。広島大学大学院文学研究科教授。パリ大学文学博士。フランス中世文学・文献学、特に『狐物語』を中心に研究。文学と社会の問題、ことばをとおしてみた中世フランス人の外界認識の仕方など。また、ヨーロッパ中世史、イギリス中世文学語学の教官とともに、ヨーロッパ中世文化研究会を組織。)

<講演について>

真夏の陽射しが照りつける船上で、誤って媚薬を飲んでしまったトリスタンとイゾー。二人はその後、「あなたなくしてわたしなく、わたしなくしてあなたなし」と愛し合う。この『トリスタンとイゾー物語』の源流をケルトの伝承にさぐり、フランス中世におけるその発展と変容をみていき、そのようなかたちの作品が待望され、受け入れられたフランス中世という時代の姿をみていきます。

### ◆御伽草子の豊穡な世界

講師：位藤邦生

(いとうくにお:1944年生まれ。広島大学文学部卒業。広島大学大学院文学研究科教授。文学博士。中世日本文学の研究。特に和歌・連歌・日記文学の研究。日記文学の研究においては、『とはずがたり』や『うたたね』など従来の女流日記文学の研究だけでなく、藤原定家の『明月記』や伏見宮貞成の『看聞日記』など、和化漢文体で書かれた男性の手になる日記を、文学作品として読み取る視点を打ち出して、文学と記録、歴史と文学等の視点から追求している。)

<講演について>

室町時代から江戸時代初期にかけて、多くの短編が作られました。それらの物語は「室町時代物語」とも「御伽草子」とも呼ばれ、内容的にも多彩な作品群です。『鉢かづき』や『物くさ太郎』、『一寸法師』、『浦島太郎』などのお話は、皆さんも子どものころお聞きになったことがおありでしょう。今回は『御伽草子』の魅力を、広島大学所蔵の貴重本の紹介とともに、語ってみたいと思います。